

専門研修

固定資産税事務基礎研修（家屋評価（木造中心））

◇ねらい 固定資産税事務（家屋評価）の遂行に当たって必要な基礎知識を習得する。

◇特徴 講義及び演習により、実務的な視点から必要とされる固定資産税事務（家屋評価）に関する基礎知識を学習することができます。

◇対象者 固定資産税（家屋評価）事務担当職員（研修内容は、固定資産税（家屋評価）事務経験年数おおむね1年未満の職員を対象としたものとなります。）
1回：30名

◇実施期間 令和2年11月26日（木）・11月27日（金）

◇会場 新潟県自治会館別館 ゆきつばき（9階）

◇科目及び時間等

科目	時間	目標・内容・期待効果
固定資産税評価 （家屋評価（木造中心））	12.0	固定資産（家屋（木造中心））の評価の基準、評価の実施方法等についての講義・演習により評価のしくみを理解する。
合計	12.0	

◇研修日程

9:30		9:45		10:00		12:30		13:30		16:30		17:00	
1日目	受付	45	00	00	30		30		30		00		00
			開講		講義・演習				講義・演習				
2日目	30				30		30		30		30		閉講
					講義・演習				講義・演習				

◇携行品 地方税法（法律編、例規通達編）、筆記用具、電卓、職場で使用している名札

◇講師 （公財）東京税務協会 専門講師 堀川 稔 氏